

新たに確認!?瀬良垣地区の壕

令和6年7月に文化財の有無に伴う調査を行いました。その結果、新たに瀬良垣地区で戦時中に造られたと思われる3基の構造物(仮称 壕)を確認しましたので紹介します。

場所は瀬良垣海岸のスパダ橋と瀬良垣橋の下を通るスパダ川を上流に上って行く途中にあります。

川沿いを上流に向けて約400メートル歩くと1つ目の壕があります。壕は川沿いの斜面上部にありました。壕はほぼ完全な状態で残っており、内部は大人が一人入れるくらいの大きさがありました。大きさは内部幅が約90センチ、内部高が約100センチ、奥行きが約270センチ、入り口幅が約84センチでした。

2つ目の壕は1つ目の壕からさらに約30メートル川沿いを上流に向けて歩いたところにあります。壕は川から一段上がったところにあり、壕の天井が崩落している状態で確認されました。また、完形であれば大人が二人は入れるくらいでした。壕の大きさは内部幅が約120センチ、内部高が約180センチ、入り口幅が約70センチでした。

3つ目の壕は2つ目の壕から約2メートル横に隣り合うようにありました。この壕の見た目は小ぶりな壕で子ども一人は入れるかくらいの大きさでした。壕の大きさは内部幅が約70センチ、内部高が約60センチ、入り口幅が約80センチでした。

今回、新たに確認した壕の他に平成30年度の踏査の際に、近くにも壕5基を確認しています。その際に、聞き取りを行ったところ、川沿いは壕が何カ所かあるという情報をいただきました。

ただ、以前確認した5基と今回確認した3基の壕は情報がまだなく、いつだれがどのような目的で造ったのかわからない状況です。今後も調査を続けていきますが、この壕の事で何か情報がありましたら恩納村博物館へ情報提供を宜しくお願いいたします。



1つ目の壕



2つ目の壕



3つ目の壕



2つ目と3つ目の壕

※この構造物を壕と仮称したのは村内全域で確認されている壕と構造が同じようなものである為です。

お問い合わせ:恩納村博物館 ☎982-5112